

参考資料

| | |
|--|----|
| ◆ 現地調査概要 | 34 |
| ◆ 各施策等の概要 | 59 |
| ◆ 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議設置要綱 | 67 |
| ◆ 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 小中学校施設部会の設置について | 69 |
| ◆ 検討の経緯 | 71 |

現地調査概要

小・中学校施設における現状の課題把握や好事例の収集等を行うため、設置主体や施設規模等にも配慮しつつ、以下の12校について現地調査を実施した。

<視察先一覧>

| 学校名 | 都道府県／市区町村 | 設置者 | 観点 |
|-----------------------|-----------|-----|--------------|
| つくば市立学園の森義務教育学校 | 茨城県／つくば市 | 公立 | 義務教育学校 |
| 土浦市立都和小学校 | 茨城県／土浦市 | 公立 | 新設校 |
| 八千代市立萱田南小学校 | 千葉県／八千代市 | 公立 | 複合化 |
| 千葉大学教育学部附属小学校 | 千葉県／千葉市 | 国立 | アクティブ・ラーニング等 |
| 千代田区立神田一橋中学校 | 東京都／千代田区 | 公立 | I C T教育 |
| 豊島区立目白小学校 | 東京都／豊島区 | 公立 | 都市型 |
| 同志社中学校 | 京都府／京都市 | 私立 | I C T教育 |
| 近江八幡市立桐原小学校 | 滋賀県／近江八幡市 | 公立 | 地域連携、複合化 |
| 糸魚川市立糸魚川小学校、ひすいの里総合学校 | 新潟県／糸魚川市 | 公立 | インクルーシブ教育 |
| 長岡市立東中学校 | 新潟県／長岡市 | 公立 | 防災 |
| 富山市立豊田小学校 | 富山県／富山市 | 公立 | 平面配置の工夫 |
| 坂井市立丸岡南中学校 | 福井県／坂井市 | 公立 | 教科教室型 |

※平面図／配置図は、各学校の学校要覧等より転載。

学級編制 (H30.5.1 現在)

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 7 年 | 8 年 | 9 年 | 計 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|-------------|-------------------------------|
| 8 学級 268 名 | 6 学級 203 名 | 6 学級 193 名 | 5 学級 151 名 | 4 学級 135 名 | 4 学級 115 名 | 2 学級 56 名 | 1 学級 23 名 | 1 学級 7 名 | 41 学級 (特支 4 学級を含む) 1,151 名 |

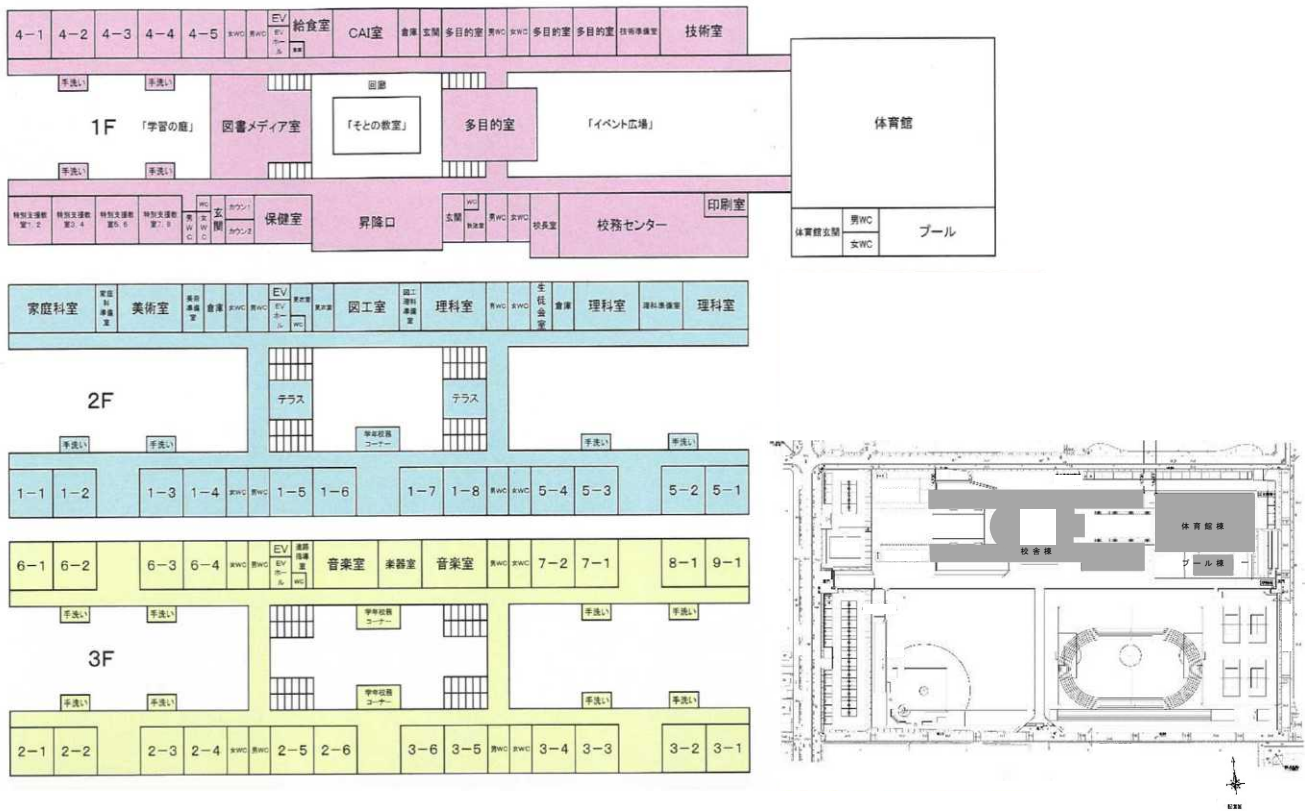
職員数 (H30.5.1 現在)

| 校長 | 副校長 | 教 頭 | 教務主任 | 副教務主任 | 教諭・講師 | 養護教諭 | 事務 | 学校管理員 | その他支援員等 | 計 |
|-----|-----|-----|------|-------|-------|------|-----|-------|---------|------|
| 1 名 | 1 名 | 2 名 | 2 名 | 1 名 | 51 名 | 3 名 | 3 名 | 2 名 | 15 名 | 81 名 |

敷地面積 51,500 m² / 延べ床面積 14,453 m² / 平成 30 年築

構造・規模 RC造3階建(北棟、南棟) S造1階建(中央棟) RS造(一部S造)1階建(体育館)

平面図／配置図



▲ 普通教室。廊下とは建具(ガラス)で隔てられ視覚的につながっている。



▲ 2 教室ごとに設置された交流スペース。



▲ 廊下に設置された手洗い。利用者が動線と交錯しないよう配慮。

委員コメント

- ・ 南棟、北棟、中央連結部、の3要素で校舎が構成させているが、外側にガラスを多用しており、お互いに見る見られるの関係性があり、また、校舎全体的に見通しが良く死角が少なく安全上有利。
- ・ 図書・メディア室が中央連結部の1Fという、学校の中心に配置されており、校内全ての箇所からアクセスしやすく利用上有利。
- ・ 各階に電子黒板が配備されており、アクティブラーニングに際しての利用が容易。
- ・ 1Fの「そとの教室」隣の「多目的室」は、研究集会などの行事や校内行事で良く活用されている様子。部屋の一角に椅子も常備してあり、椅子を使う集会でも活用しやすい。

施設計画／運営管理

- ・ 公募型プロポーザル方式で設計会社を決定。その後、義務教育学校として開校している春日学園義務教育学校や教育指導課等の関係者へのヒアリングを行い、整備方針に反映した。
- ・ 校舎を敷地北側に寄せ、グラウンド面積を最大限確保するとともに仕様の異なる3つの中庭を計画している。平面計画においても義務教育学校の特色を生かしたゾーニングや異学年交流の空間、ユニバーサル計画や自然エネルギー及び省エネルギーの観点を盛り込んでいる。



▲図書・メディア室。



▲西側は「学習の庭（天然芝）」に面する。



▲「イベント広場」。多目的室・体育館の建具は全面開放が可能。広場と一体的に利用することで多様な活動に対応できる。



▲校務センター。1～9年の全教員が一室に勤務。奥に打合せスペースがあり大変使い勝手が良いとのこと。



▲教師コーナー。



▲北棟・南棟の真ん中に配置された「そとの教室」。



▲四方を覆う大庇が十分な半屋外空間を作り出している。



▲カウンセリング室。



▲カウンセリング室へは通用玄関とは異なる玄関からアプローチが可能。

土浦市立都和小学校 (茨城県土浦市)

小 公

学級編制 (H30.4.2 現在)

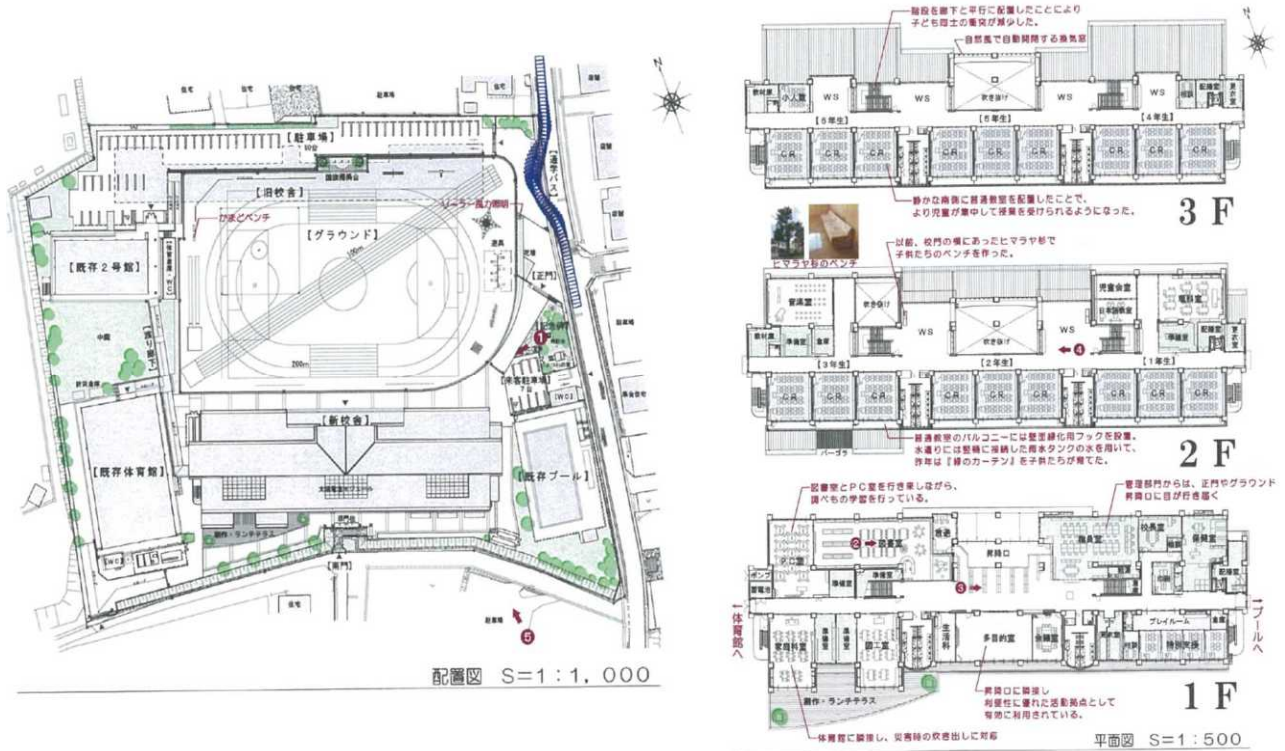
| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | なかよし | のびのび | 計 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-----------------------------|
| 2 学級 60 名 | 3 学級 74 名 | 2 学級 55 名 | 2 学級 63 名 | 2 学級 66 名 | 3 学級 96 名 | 2 学級 11 名 | 2 学級 11 名 | 18 学級 (特支 4 学級を含む) 436 名 |

職員数 (H30.4.2 現在)

| 校長 | 教頭 | 教務主任 | 教諭・講師 | 養護教諭 | 事務 | 少人数指導員 | 管理員 | 図書館司書 | その他支援員等 | 計 |
|-----|-----|------|-------|------|-----|--------|-----|-------|---------|------|
| 1 名 | 1 名 | 1 名 | 19 名 | 1 名 | 1 名 | 4 名 | 1 名 | 1 名 | 10 名 | 40 名 |

敷地面積 18,677 m² / 延べ床面積 5,213 m² / 平成 28 年築
 構造・規模 RC造 3階建

平面図 / 配置図



▲ 普通教室。内装木質化と南面からの採光によりやわらかい雰囲気となっている。



▲ 各教室の背面に備え付けの児童用ロッカー。



▲ 木質化が図られた廊下。

委員コメント

- ・居ながらの改築事業として計画され、従来の運動場の場所（敷地南側）に建設されたもの。改築後の校舎の北側となる新たなグラウンド（従来の校舎敷地）への日陰の影響を最小限にするなど周辺環境に十分配慮した配置計画がなされた。
- ・中廊下式だが、校舎中央の昇降口上部を吹き抜けとすることで、上下階に一定の見通しが確保されており、閉塞感は感じられなかった。
- ・ワークスペースと多目的室が複数ある一方で、どれも同様の設計になっており、広さや天井高等、作業・話し合い・発表・ICT活用等の用途を念頭に置きながら、変化を持たせると良いと思われる。
- ・居ながらの改築事業としての特徴から、建設過程（工事の様子など）を子ども向けに掲示し、“自分達の校舎”といった意識の醸成を図った結果、建設中のクレームもほぼ無かったとのこと。

施設計画／管理運営

- ・多目的室が昇降口の近くなので、児童ばかりでなく外部の方の利用にも使い勝手が良い。



▲2, 3階廊下の一角にはワークスペースが設けられている。写真は校庭の横にあったヒマラヤ杉のベンチ。



▲図書室。閲覧席の一角は上部吹き抜けとなっており、開放的な空間となっている。



▲図書室内の読書コーナー。休み時間等に児童がよく利用しているとのこと。



▲ワークスペースの一角にある傘立ても一工夫されている。



▲各学年の下足入れが並ぶ昇降口。上部は3階まで吹抜となっており、非常に開放的な空間。



▲保健室。ゆとりのある空間となっており、グラウンドを一望できる。



▲家庭科室。災害時の活用を考慮して体育館に近接して配置。



▲職員室。近接した位置に印刷室も確保。



※教育委員会より提供

▲教育委員会が作成した「都和小学校のつくりかた」というアルバム。建設中の学校に対する教育や情報公開として役立った。

八千代市立萱田南小学校 (千葉県八千代市)

小 公

学級編制 (H30.5.1 現在)

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|------|------|------|------|------|------|-------|
| 3 学級 | 2 学級 | 2 学級 | 2 学級 | 3 学級 | 3 学級 | 15 学級 |
| 71 名 | 60 名 | 67 名 | 75 名 | 92 名 | 84 名 | 449 名 |

職員数 (H30.5.1 現在)

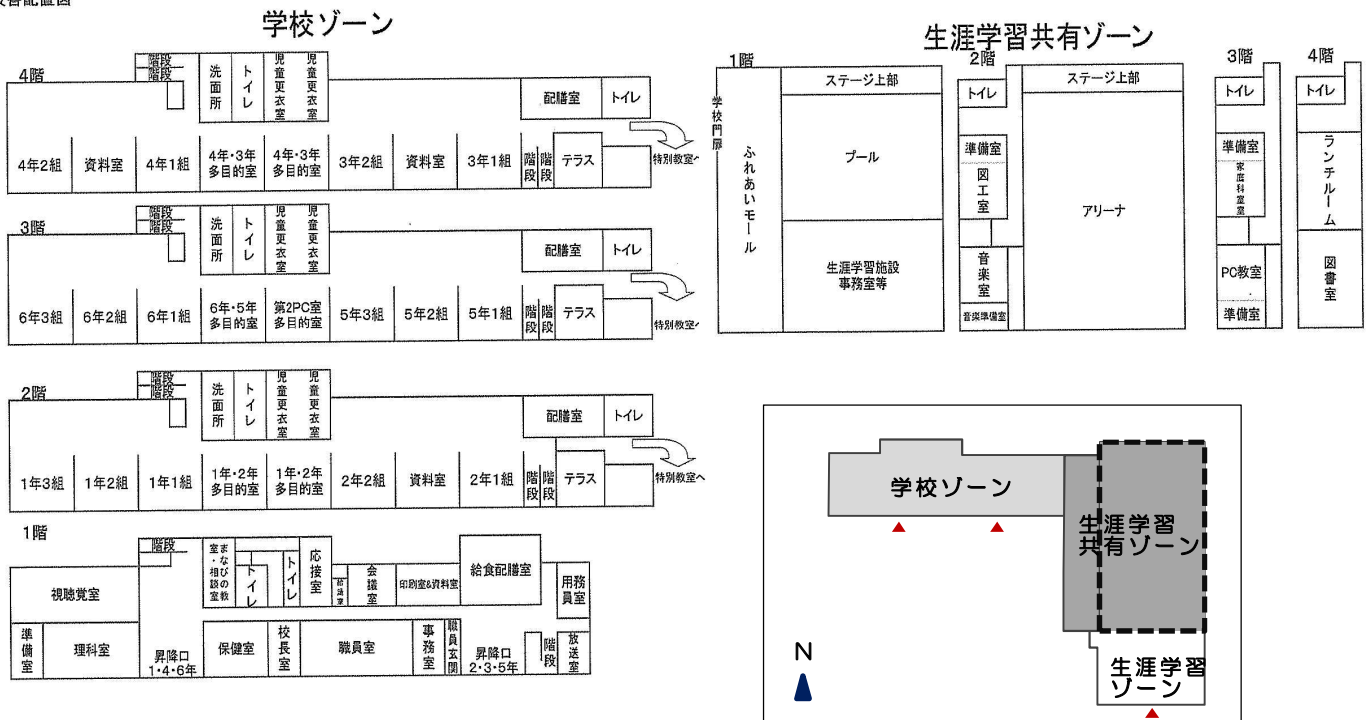
| 校長 | 教 頭 | 教諭・講師 | 養護教諭 | 事務職員 | 計 |
|-----|-----|-------|------|------|------|
| 1 名 | 1 名 | 19 名 | 3 名 | 1 名 | 25 名 |

敷地面積 7,051 m² / 延べ床面積 6,636 m² / 平成 19 年築

構造・規模 RC造 4階建 (校舎) ※体育館は総合生涯学習プラザの施設 (アリーナ) を共用

平面図 / 配置図

◇校舎配置図



▲ 普通教室は廊下を介してオープンスペースとつながっている。



▲ 普通教室。可動式の家具で廊下との間を仕切っている。廊下との境に木の枠組みを設け、児童の作品等を掲示。



▲ オープンスペース。

委員コメント

- ・ 従来ある廊下面の壁をなくし、オープンスペースとしているのが大きな特徴だが、その利点を様々利用した工夫がされている。特にグループでの学習・作業の際にはよりコミュニケーションが図りやすいものと思う。
- ・ 空調設備のある体育館（アリーナ）、屋内プールに関しても、施設の充実度、管理体制等を含め、生涯学習との共用は制約以上に学校に大きなメリットがあると考えられる。
- ・ 四年生は一クラス40名近いが、可動ロッカーを動かせば空間が広がるため、電子黒板を部屋に入れても狭く感じずに済んでいる。
- ・ プールの管理等、教員の負担が大幅に減り、計画的に水泳の授業が実施できる点が特に評価できる。近隣の学校からの移動についても、学校毎の設置や管理のコストと比較すればメリットの方が大きいと考えられる。

施設計画／管理運営

- ・ 総合生涯学習プラザに併設されたアリーナとプールを使用していることから、当該施設の維持管理を教職員が行わなくてよく、学校教育に集中できる。また、児童にとっても公共施設を使用しているとの意識醸成が図られている。
- ・ オープンスペースのため、可動式の棚で普通教室の幅を変更できる。
- ・ 普通教室前に整備された多目的スペースを活用した授業を行うことができる。



▲ オープンスペースは展示用ボードや棚を設置し、教室の余剰空間としても利用。



▲ 柱の角を利用した小規模な畳スペース。



▲ 職員室。



▲ 相談室。児童だけでなく保護者との面談にも利用。



▲ アリーナ（体育館）。平日日中は学校が利用。夜間・休日は総合生涯学習プラザの施設として一般開放。



▲ 教具類は、共用部分でなく学校側の施設に保管。



▲ ランチルーム。PTA活動にも利用される。



▲ 総合生涯学習プラザの学習相談・情報提供コーナー。



▲ 民間事業者が運営しているスポーツクラブのトレーニング室。

千葉大学教育学部附属小学校（千葉県千葉市）

小 国

学級編制（H30.4.30 現在） ※<>は帰国児童学級及び児童数を外数で示す。

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-------|-------|-------|------------|------------|------------|-------------|
| 3 学級 | 3 学級 | 3 学級 | 3 学級<1> | 3 学級<1> | 3 学級<1> | 18 学級<3> |
| 105 名 | 105 名 | 103 名 | 104 名<2 名> | 104 名<4 名> | 105 名<6 名> | 626 名<12 名> |

職員数（H30.4.30 現在） ※（）は育児休業による臨時的任用者を外数で示す。

| 校長 | 教頭 | 教諭 | 栄養教諭 | 栄養士／調理師 | 養護教諭 | 非常勤講師 | スクールカウンセラー | 特任専門職員 | 事務員用務員 | 非常勤職員その他 | 計 |
|-----|-----|-----------|------|-----------|------|-------|------------|--------|--------|----------|-----------|
| 1 名 | 1 名 | 33 名(1 名) | 1 名 | (1 名)／1 名 | 1 名 | 4 名 | 1 名 | 1 名 | 8 名 | 10 名 | 62 名(2 名) |

敷地面積 23,223 m²

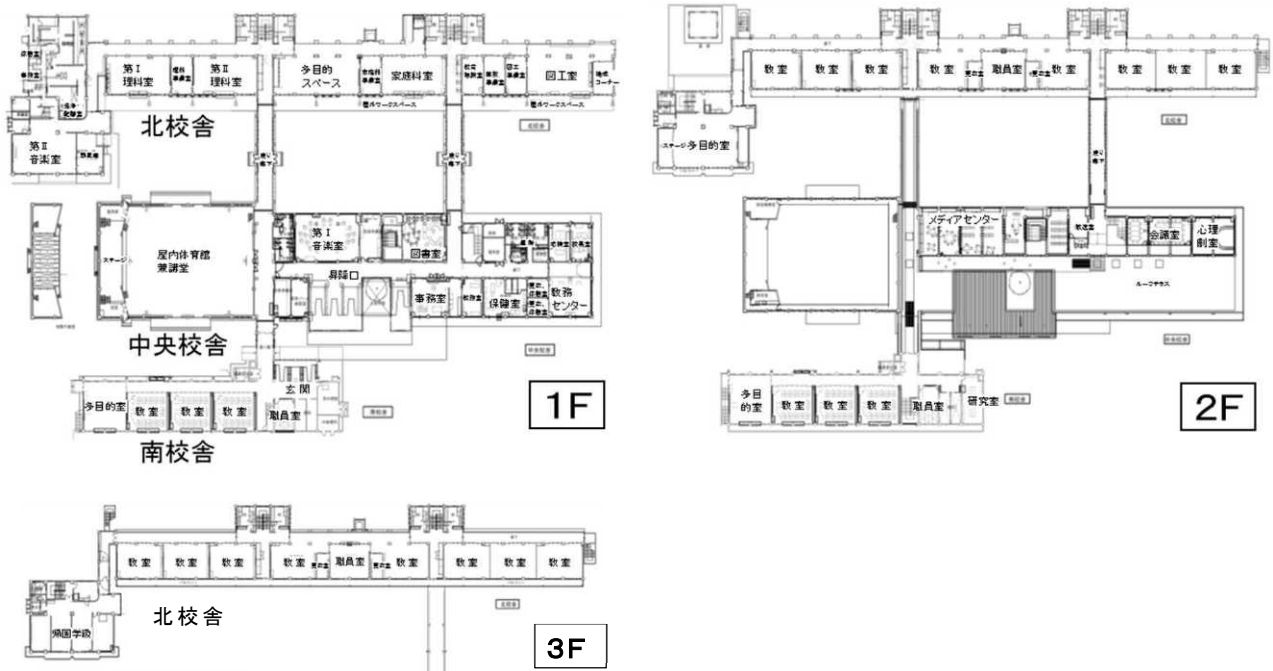
構造・規模／完成・改修年／延べ床面積

北校舎 RC造3階建て／昭和41(60)年築、平成17年改修／3,129 m²+1,454 m²

中央校舎 RC造2階建て／昭和41年築、平成19年改修／2,562 m²

南校舎 RC造2階建て／昭和44年築、平成25年改修／1,085 m²

平面図／配置図



▲普通教室。目的に応じて廊下との間の建具を開閉して使用できる。



▲研究校として見学者も多いため、扉はガラス面を広くとり、教室内が見えるようにしている。



▲活動室（多目的室）には電子黒板を設置。

委員コメント

- ・ 増築が繰り返され、片廊下・中廊下も混在しており、簡潔な計画・設計ではない。しかしながら、各特別教室の設えの良さや、平成17年～25年の大規模改修での模様変えの効果もあり、校舎・教室への思い入れを持ちやすいと感じた。
- ・ 大規模改修では教員の意見を尊重し、図書館機能を多層化（1・2階）し、室内階段で上下を結んであり、各室から図書館へのアクセスが改善されるとともに、図書館機能をおはなしセンター（1階）とメディアセンター（2階）に分化している。年齢によった利用しやすさが感じられた。
- ・ 各授業時間帯で、その時間帯に使用されない教室・特別教室は、先着順で利用できるよう運用されている。授業内容にあわせて使用する教室を選択している。

施設計画／管理運営

- ・ 校舎の改修にあたり、附属小学校内で、校長や教員等で組織された校舎改修準備委員会を設置し、施設管理課や教育学部と協議しながら、改修計画を立案・実施した。
- ・ 生活の場としての環境づくりとして、「年代ごとのスケール感に合わせた空間」「児童、教師が生活上の様々な場面と出会えるようなしかけ」を、学ぶ場としての環境づくりとして、教育の個別化への対応として、「空間の連続性・多様性」「多目的スペースなどの導入」「多様な学習メディアの導入、活用」「多様な学校編成システムの支援」をコンセプトとした。



▲図書館は、改修時に多層化し、上下で機能を分けている。写真は2階のメディアセンター部分。



▲図書館 1階のおはなしセンター。ゆったりと読書できるような様々なコーナーを設けている。



▲おはなしセンター内にある床に座り込んで読書できるコーナー。



▲上下階をつなぐ室内階段は、一部蹴上げの高さを変えて座席にもなる部分をつくっている。



▲児童が休み時間などに集まれる「たまり」の場をつくっている。



▲畳敷きのたまりの空間。



▲1年、2年、中学年、高学年ごとに職員室がある。全体の打合せ等は別の会議室を利用。



▲美術・技術室と中庭に続く外廊下。タイル敷きの外廊下をうまく活用しながら、のびのびと創作活動を行える。



千代田区立神田一橋中学校 (東京都千代田区)

中 公

学級編制 (H30.6.30 現在)

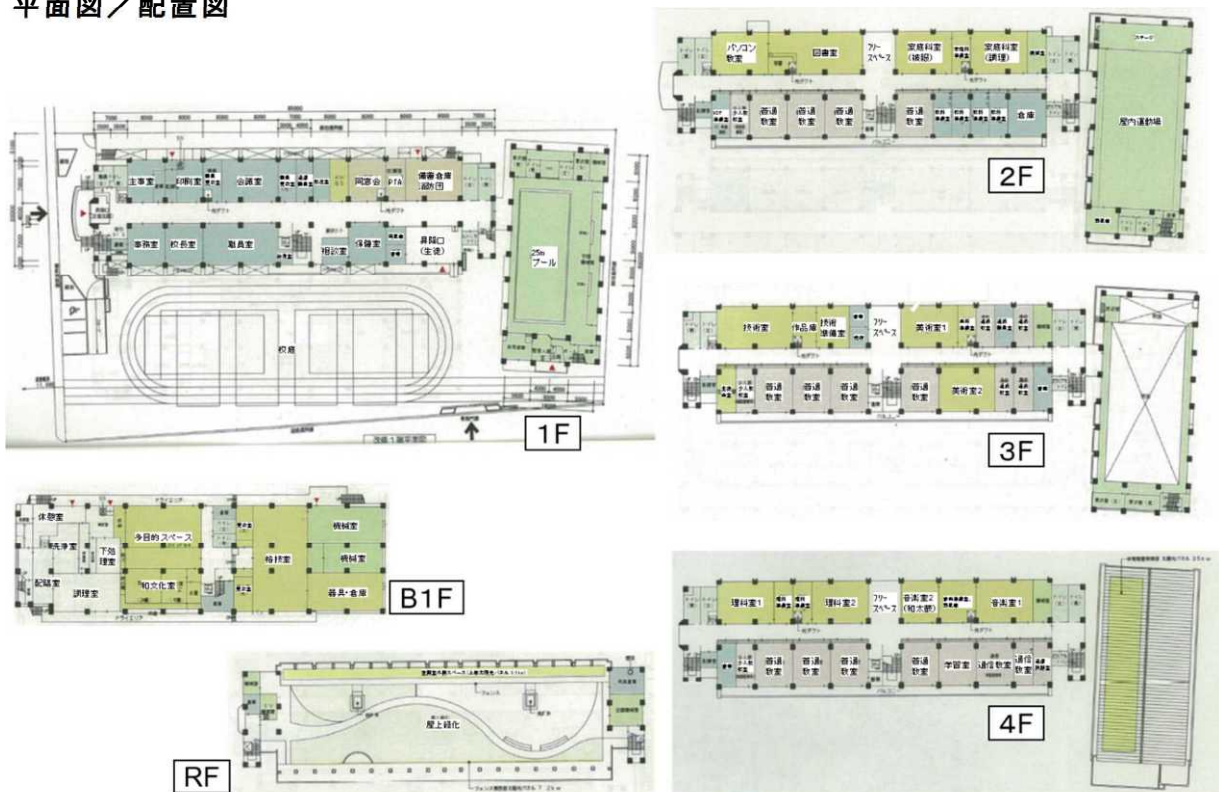
| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 計 |
|------|------|------|-------|
| 2 学級 | 2 学級 | 3 学級 | 7 学級 |
| 59 名 | 66 名 | 86 名 | 211 名 |

職員数 (H30.6.30 現在)

| 校長 | 副校長 | 主幹教諭 | 主任教諭 | 教諭 | 計 |
|-----|-----|------|------|-----|------|
| 1 名 | 1 名 | 3 名 | 8 名 | 7 名 | 20 名 |

敷地面積 6,260 m² / 延べ床面積 10,294 m² / 昭和 57 年築 (平成 26 年全面改修)
 構造・規模 RC造地上 4 階・地下 1 階建 (校舎棟) SRC造地上 3 階建 (体育館棟)

平面図 / 配置図



▲ 普通教室。改修により廊下側に 1m 拡幅し、生徒用ロッカーを常設できるようにした。



▲ 普通教室に設置された可動式の ICT ボード。教師のタブレットと連動して利用可能。



▲ 黒板下に設置された情報端末の充電保管スペース。情報教育推進校として、全ての生徒が自分用のタブレットを使用している。

委員コメント

- ・可動式電子黒板は、黒板の上下にレールを設置し、黒板全面が使えるよう黒板の外まで移動できる。教室の横幅と黒板、可動式電子黒板の横幅を設計段階から検討する必要がある。教室の空間を狭めないように、黒板下に、生徒一人1台の情報端末の充電保管スペースが確保されている。校内全体の Wi-fi 環境が整備され、ほぼケーブルレスで ICT の活用が行える環境が整備されていることも特筆すべき点。普通教室の情報化の先進事例である。
- ・校内サーバーを置かず、校務支援システムもクラウド（データセンター）で運用する等、校内のネットワーク機器の管理も最小限に留めている。
- ・ロッカーを教室に入れたことにより、展示スペースがなくなったが、代わりに廊下の壁を掲示しやすくする工夫がある。
- ・中廊下でも採光窓を確保することで、照度は問題なくやわらかな光を感じることができる。
- ・教室群以外でも、1階に同窓会室、消防団室、コミュニティールームが配置されるなど地域関係諸室も充実しており、地域との連携を支える計画となっている。

施設計画／管理運営

- ・授業や校務についての効率化が図られている。
- ・定期的にメンテナンスを行わないと、維持管理が難しい。（タブレット P C 等の経年劣化の対応）



▲廊下は建設当時から4mと非常に広く確保されていた。



▲改修時に採光窓をつくったことで中廊下でも明るい校内となっている。



▲改修により各フロアにフリースペースが設けられ、生徒間の交流促進に役立っている。



▲パソコン室。十分な収納を確保することで、すっきりした室内となっている。



▲図書室。パソコン室と隣接し、柔軟な活動が可能。



▲地下一階の多目的スペース。説明会など様々な活動に使用できる。



▲和室。地下一階の多目的スペースに隣接し、日本の伝統文化に慣れ親しめる環境づくりを行っている。



▲太陽光パネルによる発電等、校舎で行われている環境負荷低減に関する取組を分かりやすく展示。



▲屋上にはウッドデッキと天然芝を設置。地域に縁のあるオブジェを置くなどの工夫をしている。

豊島区立目白小学校 (東京都豊島区)

小 公

学級編制 (H30.5.1 現在)

| 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 計 |
|-------|------|------|-------|-------|------|-------|
| 3 学級 | 3 学級 | 3 学級 | 3 学級 | 3 学級 | 3 学級 | 18 学級 |
| 105 名 | 90 名 | 93 名 | 112 名 | 103 名 | 97 名 | 600 名 |

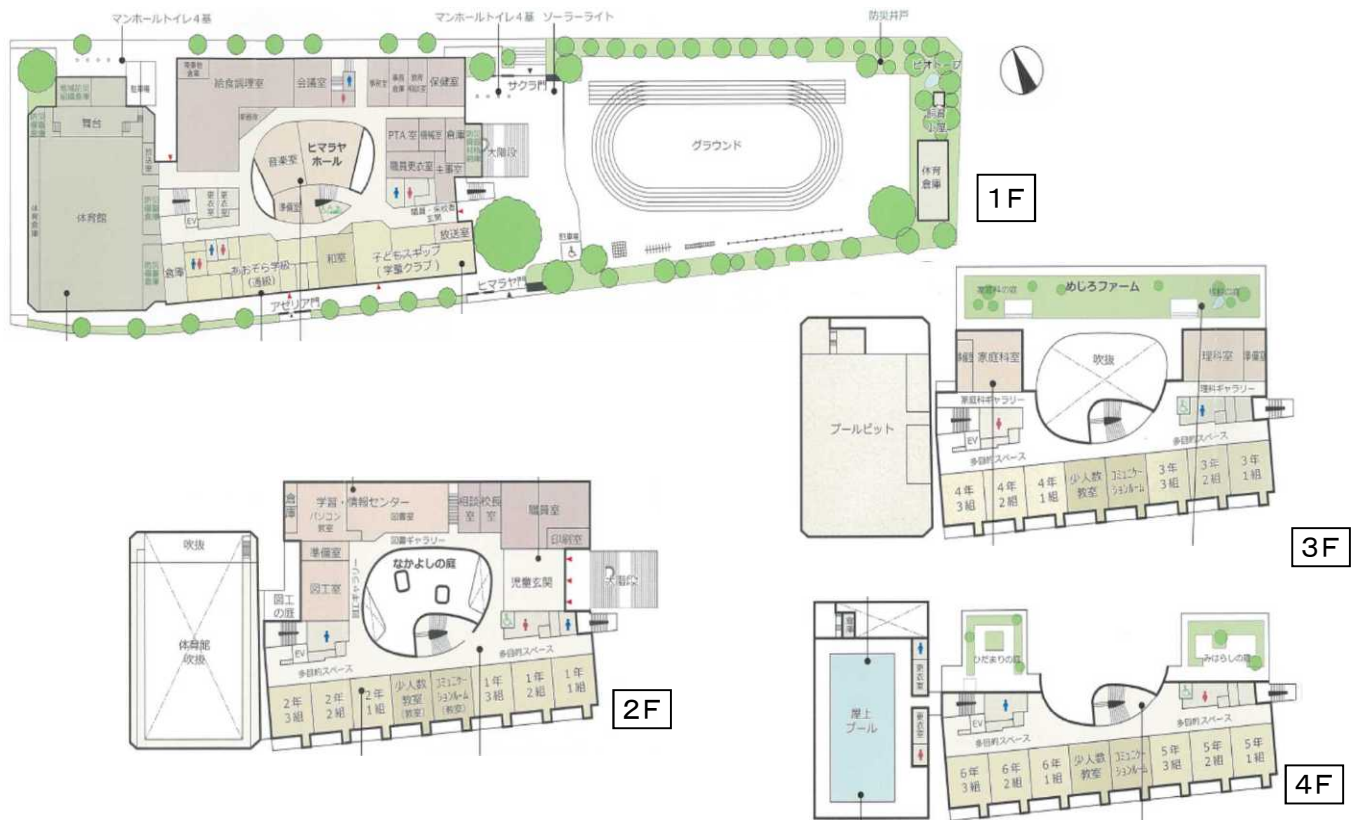
職員数 (H30.5.1 現在)

| 校長 | 副校長 | 教諭教員 | 養護教諭 | 非常勤教員・講師 | 特別支援教室 | SC・巡回相談心理士 | 図書館司書 | 事務 | その他支援員等 | 計 |
|-----|-----|------|------|----------|--------|------------|-------|-----|---------|------|
| 1 名 | 1 名 | 22 名 | 1 名 | 3 名 | 6 名 | 2 名 | 1 名 | 2 名 | 28 名 | 67 名 |

敷地面積 8,351 m² / 延べ床面積 8,017 m² / 平成 26 年築

構造・規模 RC造4階建

平面図／配置図



▲普通教室。全面の黒板に投影機を設置。タブレットと連動させた授業が可能。



▲各普通教室に配置された小スペース。児童がクールダウンする場所としても活用されている。



▲非常に明るく広くとられた廊下。

委員コメント

- ・ 比較的狭小な敷地において、グラウンドの広さを確保するため、校舎、体育館、プールをコンパクトに配置。その中で、機能によるゾーニングや各室の連携など、よく配慮された層構成、平面計画とされている。
- ・ 自然光を取り入れるための窓が効果的に配置されている。また、教室の窓の上部に庇があることで、普通教室内に入る直射日光を遮る工夫が見られる。
- ・ 教育の情報化を推進しており、タブレット端末は2学級分程度を確保。今年度末までに3学級当たり1学級程度を確保する予定とのことである。無線LAN及び電子黒板が全教室に配備され、有効に活用されていた。また、校務環境はデータセンターを使用しており、区内全校をクラウド化している。
- ・ 教育の情報化を推進する上で、「使い勝手のよさが使用頻度を高める」という意識の下、教育委員会で一元的に整備を行っているという管理職の言葉に納得した。

施設計画／管理運営

- ・ 改築にあたり、保護者、学校、地域住民等による「建替え等を考える会」を組織し、一年間にわたる検討を経て、区長への「提言書」を提出し、施設計画に反映した。
- ・ 施設利用上、教育相談室（支援を要する児童のクールダウンの場所として）、各教室と職員室を結ぶ校内電話、廊下等に設置されている「座れるコーナー」は使い勝手がよく、利用頻度が高い。また、壁を外すと2教室分の広さになる多目的室も利用目的に合わせて空間を広く使うことができ非常に便利。



▲学習・情報センターを利用した調べ学習。タブレットを使用しながらグループ学習を行っている。



▲学習・情報センターの図書室。



▲図書室内の一角に設けられた読書コーナー。



▲各階の多目的スペースに設けられた洗口所。公衆衛生の観点から歯磨き指導に力を入れている。



▲体育館。災害時の地域の避難所としての利用を想定し、備蓄倉庫や空調を整備。



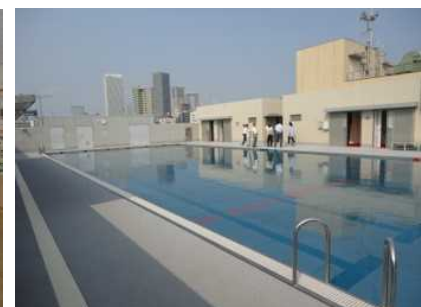
▲体育館に整備された備蓄倉庫。



▲中庭と屋上庭園を望む。緑地の少ない都市部において児童の憩いの場となる。



▲中庭に面した廊下は柔らかな曲線を描いており、空間に変化がもたらされている。



▲体育館の上階に計画されたプール。災害時にはマンホールトイレの洗浄水としても利用可能。